

GT

学連たより

no. 18
2025.2



杉本泰子氏を偲んで

学校法人資生堂学園 資生堂美容技術専門学校
理事 大竹政義

一般社団法人全国理容美容学校連盟常任理事の杉本泰子氏(享年98)が令和6年8月22日にお亡くなりになりました。

杉本泰子氏は美容師、経営者、教育者として長年美容界に貢献されました。

杉本泰子氏とは日本ヘアデザイン協会での出会いが初めてでした。美容界の大先輩でありながら、誰に対しても分け隔てなく接する姿勢に感銘を受け、ずっと親しくさせていただいておりましたので、訃報を受けたときの喪失感は想像以上に大きく、茫然自失しました。

杉本泰子氏は「理美容の科学」(1978年出版)、「美容の技術・理論」(1982年出版)、「MANNER 理美容に携わる方のマナー読本」(1989年出版)の編纂編集に携わられました。その後、編集委員と現在の全国学生技術コンテストをワインディング競技から始められ、当時の美容技術教育に大きな影響を与えました。

一般社団法人全国理容美容学校連盟とは東京都専修学校各種学校協会の催して、全国理容美容学校連盟の設立者である佐々木千里氏と知り合ったことに始まり、強い結びつきは最期まで続きました。

1996年に全国理容美容学校連盟主催の第1回全国学生技術コンテストから28年間、大会委員長・名誉大会委員長として、大会運営の指揮をとられました。多くの大会関係者や学生はその励みやアドバイスに、どれだけ助けられ勇気を頂いたかわかりません。

全国学生技術コンテストはワインディング、ヘアカット、アップスタイル、ヘアデッサン、ネイルアートデザインと競技数を増やし、参加者も増えてゆきました。

文部科学省及び全国専修学校各種学校総連合会の後援を頂く際は、現理事長佐々木健雄氏をはじめ多くの方々のご協力ご支援がありました。なかでも、杉本氏がコンテストを充実させ、文部科学大臣賞・全専各連会長賞に相応しい大会にまでレベルを上げられた指導力は大きかったと思います。

最期まで美容界、美容教育の在り方を気にかけ、今後の発展を強く願っておられました。豊かな専門知識、尽力を惜しまない行動力とリーダーシップ、深い愛情は人々の心に深く刻まれています。杉本氏のご功績に敬意を表し、その精神を引き継いでゆきたいと思います。

心からの感謝と共にご冥福をお祈り申し上げます。



杉本泰子(すぎもと たいこ)プロフィール

1926年5月19日 東京に生まれる
1949年 山野高等美容学校卒業
1989年 厚生大臣賞受賞

全国理容美容学校連盟常任理事
日本ヘアデザイン協会会員
美容業界美術家クラブ常任理事
全日本美容講師会会員

審査総評

京都理容美容専修学校 理事長 三田清栄

今大会も素晴らしい学生達の姿を見させて頂きました。どの作品も努力されている姿が目に見え、浮かぶものばかりでした。8月に亡くなられた杉本名誉大会委員長がいつもお会いすると「これは学生さんのための大会です。この大会を是非続けてね。頑張っただけね。」とおっしゃっていました。

その言葉を胸に、今大会に臨ませて頂きました。この大会が素晴らしいのは、大会に出場される選手の皆さん、応援されている学校をはじめとする多くの方々の方に支えられて続いているところだと思います。もっともっと参加者を増やしたいと願っています。お知り合いやご家族の方、お友達にこの大会のことをどうぞ伝えてください。

多くの出場者の中で頑張ることによって、大きな成果を得ていただきたいと思います。勝っても負けても、各校から推薦されて出られた皆さんです。その勇気と努力を讃えます。来年も新しい一年生と成長した二年生を迎えて、大会を開催したいと思います。

関係者の皆様、学生の皆さん、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。

令和7年度 学連スケジュール(予定)

- 4月下旬 全国理容美容学校連盟賞案内
加盟校における校内コンテスト優秀者に授与
- 5月上旬 第29回全国学生技術コンテスト案内
- 6月下旬 定時社員総会
- 10月23日 第29回全国学生技術コンテスト
場所：としま区民センター
- 11月6日 第41回美容師筆記模擬試験
- 令和8年 2月9日 第42回美容師筆記模擬試験
- 2月中旬 学連たより no.19 発行
- 3月卒業時 学生表彰
加盟校推薦の成績優秀者及び学内コンテスト優秀者に学連理事長賞授与

コンテスト インタビュー

日本美容専門学校の皆さん

北海道美容専門学校の皆さん



池田優奈さん(写真左端)

カットのフリースタイルに挑戦しました。30分間では難しい部分もありましたが、学校による違いがとても興味深かったです。とても楽しめました。



外山七果さん(写真左から5人目)

巻き方やクイックマーケルの置き方など、学校による違いがとても興味深かったです。とても楽しめました。

ごあいさつ



全国理容美容学校連盟
理事長 佐々木健雄

今年度は全国理容美容学校連盟にとって、大変残念な悲しい出来事がありました。

長い間、全国理容美容学校連盟の活動にご尽力いただいた杉本泰子氏が、8月22日に逝去されました。出会いがあれば、別れは必ず来ます。生ある以上、避けることはできませんが、有意義で貴重な時間を共有できたことは、望外の幸せです。第28回全国学生技術コンテストで杉本泰子名誉大会委員長から、ご挨拶を頂くことはできませんでしたが、コンテスト開催を喜んでおられることと思います。

皆さんは、大切な人や物、健康、時間などを無くして初めて、その重要性に気づき、悔しさや悲しさで苦しむことはありませんか。

野球の大谷翔平選手のようなストイックな生き方は、なかなか真似できるものではありません。いずれ迎える引退の日までの時間を考え、ひた向き且つ着実に目標実現を続けています。そこに辛さや悲壮感はなく、余裕や喜びを感じられるところが素晴らしいといつも感心させられます。私も希望を持っています。どこまで実現できるかはわかりませんが、わずかずでも諦めずに行動しています。皆さんの純粋さと力強さに元気をもらい、設立当時の若かりし日の自分を思い出しては、気持ちを奮い立たせています。

若い皆さんは時間を十分持っています。何にどれだけの時間を使うのか、どのように生きたいのか、将来の設計図を考えてみませんか。

第28回全国学生技術コンテスト報告

理容美容教育の向上と理容美容学校の学生の技術向上を目的として毎年行われている「全国学生技術コンテスト」は、文部科学大臣杯を戴き、全国でも高いレベルのコンテストとして定評があります。また、加盟校の教員がコンテスト委員会を運営するなど、自立性の高いユニークな運営方法でも知られる数少ないコンテストです。

今年度は、2024年10月24日(木)に前回と同じ東京都豊島区の「としま区民センター」に於いて、第28回全国学生技術コンテストが開催されました。その様子をここにご報告申し上げます。

各賞発表と表彰

■文部科学大臣賞



ワインディング1年生の部
諸星 結歩
資生堂美容技術専門学校



ワインディング2年生の部
松本 優屈
北海道美容専門学校



ワインディングデザイン巻の部
森本 明花
京都理容美容専修学校



デザインカットの部
山田 美沙希
日本美容専門学校



アップスタイルの部
百瀬 友香
京都理容美容専修学校



ヘアデッサンの部
土田 知子
京都理容美容専修学校



受賞のことば

諸星 結歩さん はじめに大会運営関係者の皆様、今回練習の成果を発揮する場を開催していただき、ありがとうございます。

大会では、努力の成果を認めていただける結果になって、とても嬉しく思っています。

毎日練習ができるよう優しく見守り、サポートしてくれた家族。一緒に切磋琢磨し、練習をしてくれた友達。アドバイスをくださった先生方。沢山の方々のサポートのおかげで取ることができた賞なのだと改めて感じ、本当に感謝しています。

まだまだ課題は沢山ありますが、今後も常に向上心を持って、日々の練習に取り組んでいきたいです。ありがとうございました。

松本 優屈さん 今回、文部科学大臣賞を受賞することができ、とても嬉しく思います。昨年はワインディング1年生の部に出場し、優秀賞という結果で終わってしまったので、今年こそは優勝すると決心し、1年間毎日練習に励んできました。

量だけでなく質の高い練習をする事を心がけました。大会本番は緊張感のある雰囲気でしたが、周りに吞まれることなく、最後まで落ち着いて巻くことができました。

今回目標であった1位という順位を頂き、これまでの練習の成果を発揮できたことが本当に嬉しいです。

2年間続けて出場し、コンテストでしか感じられない空気感や緊張、悔しさなど、他ではできない経験を沢山することができました。この経験を活かして今後につなげていきたいです。

森本 明花さん 「文部科学大臣賞」を頂くことができて大変嬉しく思います。昨年はワインディング1年生の部に出場させて頂きましたが、優秀賞で悔しかったのを覚えています。だからこそ、今回は絶対に優勝したいという思いが強くなりました。本番はすごく緊張して手が震えてしまわないう不安もありましたが、今まで頑張ってきた練習の成果を発揮することができて良かったです。

この賞を頂くことができたのは、ここまでご指導して下さった先生方、毎日一緒に練習を頑張ってくれた仲間、支えてくれた家族、応援してくれた友達のおかげです。ありがとうございました。

山田 美沙希さん 文部科学大臣賞という輝かしい賞を頂けて、光栄です。全国学生技術コンテストを通して、人として成長することが出来たと思います。

今回の作品で特に頑張ったことはカラーです。何度も試行錯誤し、色の配色や見え方を意識して、カラーすることにこだわりました。細かなところまで意識すると、作品創りに対してより深く考えることができ、辛くても美容の楽しさを改めて実感できました。それによって、私らしい作品を創ることが出来ました。

その場しのぎの技術では完成度の高い作品を作ることは出来ないし、練習を重ねても中々上手くいかず、自信をなくしてしまうこともあり。そんな時に、慰めてくれたり、的確なアドバイスをくれた友達や家族、先生方の支えがあってこそこの結果だと思います。

この経験を生かし、目標に対して誠実に向き合い、さらに成長していきたいです。

百瀬 友香さん 本大会で、文部科学大臣賞を頂けてとても嬉しく思います。今回のアップスタイルでは1・2年生の間、私が継続して練習してきた夜会とカールを前面に出せるスタイルにしました。今までで一番頑張ってきた技術を東京という大舞台で発表出来ることになったので、必ず1位を取るという思いで練習しました。

本番では納得のいく夜会ができませんでしたが、諦めてはいけないという思いで、その部分をどう綺麗に見せるかを考え、咄嗟にカールを下ろし綺麗に仕上げることができました。

本番だからこそ、冷静になる大事さを学びました。このような賞を頂いたのは、指導して下さった先生方と一緒に練習してきた仲間のおかげです。ありがとうございました。

土田 知子さん 今回、文部科学大臣賞を頂くことができてとても嬉しく思います。大きな紙に人物を描くというのは想像よりも難しく苦戦しました。より良い作品にするために、たくさん資料を見て、たくさん描いて試行錯誤しながら少しずつ完成度を上げていきました。上手いかないことや不安なこともありましたが、先生からは丁寧なご指導をいただき、クラスメイトからはたくさんの応援や励ましをもらい、頑張ることができました。たくさん支えがあったから、この賞を頂くことができたと思います。ありがとうございました。



■学連理事長賞



ワインディング1年生の部
吉田 綾乃
京都理容美容専修学校



ワインディング2年生の部
山下 このは
京都理容美容専修学校



ワインディングデザイン巻の部
鍛冶 美月稀
京都理容美容専修学校



デザインカットの部
池田 優奈
日本美容専門学校



■全専各連会長賞

- ワインディング1年生の部 神山 豊瑛 京都理容美容専修学校
- ワインディング2年生の部 石田 和奏 北海道美容専門学校
- ワインディングデザイン巻の部 杉澤 運誠 北海道美容専門学校
- デザインカットの部 米山 紗生 日本美容専門学校
- アップスタイルの部 鈴木 花穂 日本美容専門学校
- ヘアデッサンの部 浦田 菜乃音 資生堂美容技術専門学校



アップスタイルの部
中川 海樹
日本美容専門学校



ヘアデッサンの部
下谷 琉楓
日本美容専門学校



■杉本泰子賞 下谷 琉楓 (ヘアデッサンの部) 日本美容専門学校

■優秀賞

- ワインディング1年生の部 山田 佳乃 資生堂美容技術専門学校 / 木村 藍 日本美容専門学校 / 櫻井 菜々音 資生堂美容技術専門学校 / 田中 涼鈴 北海道美容専門学校 / 澁谷 朱雀 北海道美容専門学校
- ワインディングデザイン巻の部 木下 柑奈 北海道美容専門学校
- アップスタイルの部 江崎 翠 日本美容専門学校
- ヘアデッサンの部 高尾 瑞姫 グルノーブル美容専門学校

■ジャーナル賞

- ワインディング1年生の部 ザ・ビューレック社賞 木村 藍 日本美容専門学校
- ワインディング2年生の部 専門学校新聞社賞 石田 和奏 北海道美容専門学校
- ワインディングデザイン巻の部 新美容出版社賞 森本 明花 京都理容美容専修学校
- デザインカットの部 髪文化舎賞 山田 美沙希 日本美容専門学校
- アップスタイルの部 女性モード社賞 竹村 菜佑 京都理容美容専修学校

■ネイルアートミュージアム入賞者

- 優秀作品賞 萩本 虹 京都理容美容専修学校
- 奨励賞 大村 美潤 京都理容美容専修学校
- 小松原 美優 専門学校エビスビューティカレッジ
- 東川 天音 京都理容美容専修学校
- 山下 このは 京都理容美容専修学校

審査講評

- ワインディング3部門 (1年生・2年生・デザイン巻) 日本美容専門学校 齋藤道生
- デザインカット・アップスタイル・ヘアデッサン部門 京都理容美容専修学校 木村直美

■ワインディングは技術の正確性だけでなく、その過程の集中力なども非常に大切な技術と考えています。審査員の先生方からは「上位の作品は正確に巻けて、面も綺麗だ」「センターが水平で整っていた」「バランスが良い」との評価と「おくれ毛やおさまりに歪みのある作品があった」「バックサイドのシンメトリーにこだわって欲しかった」「サイドがもう少し綺麗に巻けると全体が変わる」などの課題も指摘されました。限られた時間といつも違う環境の中で、満足のいく成果を出すことは難しいことだと思います。だからこそ、どれだけ練習時に本番と同じように取り組めるか、本番でどれだけ練習と同じようにこなせるか。技術とメンタル両方の鍛錬が大事だと思います。

■デザインカットは学生の感性が前面に出ているダイナミックな作品が多くて驚きました。ダイナミックの中にも繊細なカットラインや、毛先のウェーブが数ミリ単位で整えられていてすごいと思いました。今後活かせるように頑張ってください。

■アップスタイルは、カールとか面などのバランスが良く取れていました。面は艶やかに、カールは毛先までカール感が残るように綺麗に作られていました。

■ヘアデッサンは顔の形とか全体のバランスが良かったと思います。コントラストを強調したデッサンとか優しい雰囲気デッサンなど、テイストの違いで採点が難しかったのですが、60分間でよくまとめたと感じました。